

NEWS RELEASE

mRNA 医薬の初期開発治験薬の生産設備を増強

2026 年 2 月にサービスを開始、小規模かつ迅速な治験薬製造のニーズに対応

2025 年 7 月 4 日

富士フイルム富山化学株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：佐藤 充宏、以下 富士フイルム富山化学）は、mRNA 医薬などの初期開発治験薬の小規模かつ迅速な開発ニーズに対応するため、富山研究開発センター内の治験薬製造施設に、脂質ナノ粒子（LNP）製剤を製造する無菌製剤製造設備を新たに導入します。この設備を活用し、mRNA 医薬などの無菌製剤の初期開発治験薬製造サービスを 2026 年 2 月より開始し、CDMO 事業のサービス拡大を図ります。

mRNA 医薬の研究開発は、感染症に対するワクチンのみならず、がんワクチンや遺伝性疾患の治療薬など、多様な分野で急速に進展しています。これらの研究成果をもとに早期に医薬品の創出につなげるためには、非臨床試験から臨床試験に至るプロセスにおいて、CMC（化学・製造・品質管理）開発や治験薬の製造を迅速に進め、開発スピードを高めることが求められます。

今回、富士フイルム富山化学は、CDMO 事業におけるプロセス研究・開発を行う富山研究開発センター内の既存の治験薬製造施設を増強します。これまでの富山第二工場（蓮町サイト）の中規模製造施設に加え、研究所内に機動的に治験薬を製造できる設備を増強することにより、お客様の非臨床から臨床段階へのスムーズな移行を支援し、mRNA 医薬の開発スピードの向上に貢献します。

現在、富士フイルム富山化学は、製薬企業やバイオベンチャーなどの mRNA 医薬の開発をサポートするために mRNA の合成から LNP の製剤化までを受託する End-to-End の CDMO サービスを提供しています。特に LNP に関する技術に強みを持ち、富士フイルムグループのコア技術である合成技術やナノ分散技術を応用し、mRNA の送達効率が高い LNP の独自ライブラリを保有しています。さらに LNP 製剤のハイスループットスクリーニングやナノ粒子の品質の解析など、LNP 開発を支援する分析サービスも幅広く展開しています。

今回の生産設備の増強を通じて、お客様の新薬開発を加速させ、医薬品の創出に貢献していきます。

<増強設備の概要>

場所	富士フイルム富山化学 下奥井サイト
導入設備	GMP 管理に対応した生産設備 ・ LNP の製造設備 ・ 無菌充填設備 等
サービス提供開始	2026 年 2 月



新たに治験薬製造設備を導入する建屋

本件に関するお問い合わせは下記にお願い致します
富士フイルム富山化学株式会社

【報道関係】総務部 TEL 03-5579-5754

【そ の 他】バイオ事業本部 TEL 090-2728-4809